

第 1 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

( 第 5 号 )



1 平成7年3月22日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1 番 秋山 光章	2 番 増田 基彦
4 番 斉藤 実	5 番 宮沢 治海
6 番 植木 馨	7 番 鈴木 順子
8 番 永井 龍平	9 番 脇田 安保
10 番 庄司二三男	11 番 山崎 雅己
12 番 岩村 勝弘	13 番 榎本 春光
14 番 小宮 利夫	15 番 山中金治郎
17 番 鈴木 忠夫	18 番 日下 君敏
19 番 川名 正二	20 番 生稲 隆
21 番 神田 守隆	22 番 福原 勤
23 番 石井 昌治	26 番 辻田 実
27 番 横溝 功	28 番 飯田 義男

1 欠席議員 1名

3 番 島田 保

1 出席説明員

市長 庄司 厚

収入役 川上 義雄

総務部長 神子 純一

経済部長 小沼 晃

水道課長 谷貝 実

教育委員会  
教育 高橋 博夫

選挙管理委員会  
選挙管理 平嶋 倫治

監事  
監事 田村 哲也

助役 小幡 清之

市長公室長 永野 修

民生部長 渡辺 富雄

建設部長 三平 孝司

教育委員会  
教育 田村悦智子

選挙管理委員会  
選挙管理 加藤 利

監査委員 山田 教和

農業委員会  
農業 佐久間 宏

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一  
書記 四ノ宮 朗  
書記 松浮 郁夏

事務局長補佐 鈴木 哲  
書記 小山 真

1 議事日程（第5号）

平成7年3月22日午前10時開議

日程第 1

- 議案第10号 館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第11号 館山市行政組織条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第12号 館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第13号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第14号 館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の制定について
- 議案第15号 館山市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第16号 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第17号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 財産の取得について
- 議案第19号 財産の無償譲渡について
- 議案第20号 財産の無償譲渡について
- 議案第28号 平成6年度館山市一般会計補正予算（第5号）

- 日程第 2 { 議案第 2 1 号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 2 号 館山市乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 3 号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 9 号 平成 6 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 3 0 号 平成 6 年度館山市老人保健特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 3 { 議案第 2 4 号 館山市農村協同館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 2 5 号 館山市豊房育成牧場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 2 6 号 館山市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 7 号 市道路線の認定及び廃止について
- 議案第 3 1 号 平成 6 年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）
- 議案第 3 2 号 平成 6 年度館山市水道事業特別会計補正予算（第 3 号）
- 日程第 4 請願第 1 8 号 消費税の税率引き上げ反対の意見書を求める請願書
- 議案第 1 号 平成 7 年度館山市一般会計予算
- 議案第 2 号 平成 7 年度館山市国民健康保険特別会計予算
- 議案第 3 号 平成 7 年度館山市老人保健特別会計予算
- 議案第 4 号 平成 7 年度館山市ユースホテル特別会計予算
- 日程第 5 { 議案第 5 号 平成 7 年度館山市学童災害共済事業特別会計

## 予算

- 議案第 6 号 平成 7 年度館山市下水道事業特別会計予算
- 議案第 7 号 平成 7 年度館山市水道事業特別会計予算
- 議案第 8 号 平成 7 年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

日程第 6 議案第 33 号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定  
について

日程第 7 議案第 34 号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任に  
ついて

日程第 8 発議案第 2 号 地方分権推進法の早期制定に関する意見書に  
ついて

日程第 9 発議案第 3 号 定住する在日外国人への地方参政権付与に関  
する意見書について

日程第 10 { 発議案第 4 号 国民のためのよい看護実現に関する意見書に  
ついて  
発議案第 5 号 義歯（入れ歯）保険点数の改善に関する意見  
書について

開 議 午前 10 時 18 分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数24名、これより第1回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

## 議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

## 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第10号乃至議案第20号及び議案第28号の各議案を一括して議題といたします。

## 総務委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、3月9日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長斉藤 実さん。御登壇願います。

（総務委員会委員長斉藤 実君登壇）

◎総務委員会委員長（斉藤 実君） ただいま議題となりました議案第10号乃至議案第20号及び議案第28号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月9日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、14日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第14号館山市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の制定についてであります。休日勤務等の関係を中心に、条例の内容について詳細な質疑が行われました。

また、委員から、ヘルパー等の臨時職員が勤務の特殊性により休日等に勤務した際には、割り増し賃金の支給等について配慮すべきではないかとの意見がありました。

次に、議案第18号財産の取得についてであります。平成6年度中に土地開発公社が買収した分を取得するもので、今回の分を合わせて取得率は47.5%となる。また、残っている部分について、支障となっている原因としては、相続人の中での調整、抵当権解除等の問題等があるとの説明がありました。

また、現在の買収価格はバブル経済時代の価格のままであるので、引き下げを考える必要があると思うがどうかとの指摘に対して、現在取得しているのは主に山林であるが、山林については地価変動率が余り大きくないこと及び既に地元説明会において買収価格を提示しているため、このままの価格で交渉を続けたいとの回答がありました。

次に、議案第19号財産の無償譲渡についてであります。その登記に関しての質疑に対して、当該地区については認可地縁団体でないため、団体名義による登記はできず、代表者3名の名義を予定していると聞いている。なお、毎年度総会等の開催時に町内全体の所有物であることを議事録に残し、継承していくよう指導しているとの説明がありました。

次に、議案第28号平成6年度館山市一般会計補正予算（第5号）であります。まず歳入のうち、競輪事業収入の減についての質疑に対し、今までに例を見ない落ち込みであるが、組合では投票方法の見直し等、人気回復策を検討中であると聞いているとの回答がありました。

歳出では、衛生費中、環境施設センター用地購入費の内容について説明を求めたところ、センター敷地内に存在する国有の赤道を取得しようとするものであるとの回答がありました。

また、教育費中、多目的運動広場整地等工事請負費に関して、現在の状況について説明を求めたところ、3月26日に竣工式を行い、以降供用を開始するとの回答がありました。

また、委員から、この運動広場については、市民からの要望に対して迅速な対応がなされたことを高く評価するとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第10号乃至議案第20号及び議案第28号については、全員一致をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。



通告はありませんでした。討論はありませんか。——討論なしと認めます。  
よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第2、議案第21号乃至議案第23号、議案第29号及び議案第30号の各議案を一括して議題といたします。

### 文教民生委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、3月9日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海さん。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇）

◎文教民生委員会委員長（宮沢治海君） ただいま議題となりました議案第21号乃至議案第23号、議案第29号及び議案第30号に係る文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月9日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、14日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第22号館山市乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例の制定についてであります。乳幼児数や出生率についての質疑があり、零歳から6歳までの乳幼児数については3,215人で、出生率についてはこのところ増加傾向にあるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第21号乃至議案第23号、議案第29号及び議案第30号については、いずれも全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第3、議案第24号乃至議案第27号、議案第31号及び議案第32号の各議案を一括して議題といたします。

#### 建設経済委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました各議案は、3月9日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長増田基彦さん。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長増田基彦君登壇）

◎建設経済委員会委員長（増田基彦君） ただいま議題となりました議案第24号乃至議案第27号、議案第31号及び議案第32号に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月9日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、15日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第25号館山市豊房育成牧場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定についてであります。が、跡地利用について説明を求めたところ、豊房育成牧場跡地利用促進協議会において協議中であるとの説明があり、委員から、有効利用について十分検討されたいとの要望がありました。

議案第27号市道路線の認定及び廃止についてであります。が、市道1234号線は現在完成しているのか、また国道410号バイパスはどの部分から高架になるのかとの質疑に対し、市道1234号線については、県立南地域文化ホール（仮称）建設に伴う市道であるため、現在はまだできていない。また、国道410号バイパスはコミュニティセンター付近から高架となり始めるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第24号乃至議案第27号、議案第31号及び議案第32号については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。  
よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

#### 請願書の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第4、請願第18号消費税の税率引き上げ反対の意見書を求める請願書を議題といたします。

#### 総務委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） ただいま議題となりました請願は、総務委員会に付託され、継続審査となっていたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の概要につき、委員長の報告を

求めます。

総務委員会委員長斉藤 実さん。御登壇願います。

(総務委員会委員長斉藤 実君登壇)

◎総務委員会委員長(斉藤 実君) ただいま議題となりました請願第18号消費税の税率引き上げ反対の意見書を求める請願書について、総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

本請願については、平成6年6月議会において本委員会に付託され、その後継続審査となっていたものであります。

審査の中で、消費税引き上げについては、既に平成9年に実施される法律が成立しており、請願の提出されたときの状況とは異なっているが、さきの総選挙で税率引き上げを公約した党は全くなく、政治のあり方の根本が問われる問題である。引き上げ反対が求められている状況であればこそ、意見書を提出すべきであるとの意見がありました。

採決の結果、本請願につきましては賛成少数により採択しないものと決定いたしました。

以上御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長(辻田 実君) 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長(辻田 実君) ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

◎議長(辻田 実君) これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長(辻田 実君) これより採決いたします。

採決は起立により行います。

本請願についての委員長の報告は採択しないであります。

本請願を委員長の報告どおり採択しないことに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(辻田 実君) 起立多数であります。よって、本請願は採択しないことに決しました。

#### 議長の報告

◎議長(辻田 実君) なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

#### 議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第5、議案第1号乃至議案第8号、平成7年度各会計予算を一括して議題といたします。

#### 予算審査特別委員会委員長報告

◎議長(辻田 実君) ただいま議題となりました各会計予算は、3月13日の本会議において予算審査特別委員会を設置し、付託したものであります。

よって、これより予算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

予算審査特別委員会委員長飯田義男さん。御登壇願います。

(予算審査特別委員会委員長飯田義男君登壇)

◎予算審査特別委員会委員長(飯田義男君) ただいま議題となりました議案第1号乃至議案第8号、平成7年度館山市一般会計予算並びに特別会計予算に係る予算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る3月13日の本会議において設置されました本委員会を16日招集し、各

会計における予算につき、慎重に審査を行いました。

以下、委員会におきます質疑応答等、整理いたしまして、その概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費であります。防災対策費に関しまして、防災行政無線の増設計画及び災害時以外の火災や広報無線としての活用についての質疑に対しまして、現在地域防災計画の見直しに着手しているが、現時点では増設は考えていない。防災行政無線の使用については、ライフラインと住民の日常生活に重要な影響を及ぼす場合や災害発生のおそれのある場合を原則としている。現在の設置は海岸線を中心としているため、災害時以外の使用は考えていないとの説明がありました。

次に、転入者等への防災マップの配布について、市民課で転入手続の際、配布することはできないかとの質疑に対しましては、今後検討するとの回答がありました。

また、防災機材庫建設工事請負費が計上されているが、規模や建設場所及び機材の内容について説明を求めたところ、防災機材庫は鉄骨平家建て約60坪、建設場所は市内1カ所を予定しており、現在検討中である。機材の内容については、防災対策用の機械類、給水関係用品、道路の保安用品、防災対策用の工具類であるとの説明がありました。

さらに、防災対策については非常に大きな問題であるので、いろんな意見を参考にして今後検討していきたいとの市当局の考えが示されました。

委員からは、防災対策の中で防災無線の増設を図りたいとの要望がありました。

次に、第3款民生費であります。老人福祉費及び生活保護費に関しまして、65歳以上の高齢者及び生活保護を受けている者についての質疑に対しまして、高齢者については、平成6年4月現在で1万1,375人、21%となっており、生活保護を受けている者については、平成5年度末で258世帯、336人となっているとの説明がありました。

さらに、社会福祉費及び老人福祉費に計上されている臨時職員賃金の内容について説明を求めたところ、まず社会福祉費中、社会福祉総務費に計上さ

れている賃金については、身体障害者のホームヘルプサービス等の賃金であり、老人福祉費中、老人総務費に計上されている賃金については、一般の老人に対するホームヘルプサービス等を行うための賃金であるが、実際のホームヘルプサービスは両方を兼ねて活動しているところである。次に、老人福祉医療費に計上されている賃金は、老人保健医療費の内容をチェックする臨時職員の賃金であり、老人福祉センター費に計上されている賃金は、湊及び出野尾の老人福祉センターの臨時職員の賃金であるとの説明がありました。

ホームヘルパーの増員や移動手段についての質疑の後、委員から、ホームヘルパーの足となる自動車等の確保については今後とも配慮されたいとの意見がありました。

次に、第4款衛生費であります。保健総務費中、在宅寝たきり老人歯科保健推進事業の内容についての質疑があり、この事業は、在宅の寝たきり老人に対し、歯科医師等が訪問し、サービスの範囲において治療しようとするものであるとの説明がありました。

環境衛生費においては、那古地区生活排水処理施設建設工事についての質疑に対しまして、本工事は2カ年で行う事業であり、平成7年度は総事業費の60%、8年度においては40%を見込んでいるとの説明がありました。

さらに関連して、河川の水質対策や合併処理浄化槽設置事業補助金についての質疑がなされました。

次に、第6款農林水産業費であります。農業費中、農業協力員報酬について質疑がありました。

また、農業振興費中、農村青年グループ育成事業補助金及び農業企画研究会補助金について説明を求めたところ、農村青年グループ育成事業補助金については、青年農業者会議等への参加に対し、また農業企画研究会補助金については、40歳未満の専業農業者で構成し、技術の研さんや組織を通じての交流に対し補助しているとの説明がありました。

さらに、廃プラスチック処理事業補助金に対しましては、運営費についても補助されたいとの要望がありました。

また、農地費においては、農道整備に対する基準についての質疑が行われ、



農業用施設補修用材費については、予算額の増額を要望する意見がありました。

水産費につきましては、東京湾地域栽培漁業推進協議会負担金に関連した質疑が行われ、委員からは、今後の漁業のあり方として、とる漁業から育てる漁業へ、また民宿等との連携による観光漁業に取り組んでみてはどうかとの意見がありました。

次に、第7款商工費であります。商工業振興費中、中小商業活性化事業補助金について説明を求めたところ、平成7年度の新規事業であり、館山市商業協同組合が実施している商品券事業の事務の合理化を助成し、商業の活性化を図ることを目的とするものであるとの説明があり、これに対しまして、今後はどのように考えているのかとの質疑には、事務のOA化により、スムーズな処理ができるものと考えているとの回答がありました。

さらに、観光費に関連して、館山市及び近隣の観光客の入り込み状況について説明を求めたところ、平成6年の館山市の入り込み状況は175万6,000人で、前年比103.8%である。鴨川市においては287万2,000人で、前年比101.3%であり、富浦町においては38万1,000人で、前年比127.4%であるとの説明がありました。

委員から、観光客をふやすような積極的な予算を組み、観光客の集客や、企業が進出してくるような施策を展開されたいとの要望がありました。

次に、第8款土木費であります。まず都市計画道路整備事業について、青柳―大賀線の概要説明を求めましたところ、総延長約4,400メートルのうち、事業化している部分として、第1期工事が国道410号バイパスから県道館山―白浜線までの延長約380メートル及び7年度から始まる第2期工事が県道館山―白浜線から国道410号の現道までの約390メートルであり、今回計上しているのは第1期工事と第2期工事を合わせた分であるとの回答がありました。

また、橋上駅舎建設に関し、概略設計の中間報告に係るJRとの協議の進捗状況について説明を求めたところ、概略については、電話連絡によりJRの了解を得ている。早急に協議し、さらに具体的な内容を詰めていきたいと

の回答がありました。

また、委員から、資金計画については特に十分な協議を進められたいとの要望がありました。

次に、第9款消防費であります。初期消火対策として、各家庭あるいは地区への消火器の設置などの施策が取り入れられないかとの質疑に対し、町内会の経費で設置している地区もあり、初期消火には十分有効ではあるが、市が直接設置することは困難である。今後総合的に見直しを行う中で、補助事業的な面で検討されるものとする。しかし、消火器については、原則的に各家庭で備えることが有効かつ適切と考えられるとの回答がありました。

さらに、自警団及び自主防災組織の育成についてはどのように考えているか説明を求めたところ、自警団については、それぞれの地域を守るという意味で自発的に組織されたものであり、行政として特に関与はしていない。また、自主防災組織については、コミュニティ補助事業の中で自主防災備品整備に対して助成を行っているところであるが、現在の制度では初期消火用器材は含まれていない。今後の全体の見直しの中で必要性が認められれば、制度の見直しということになるとの説明がありました。

次に、第10款教育費であります。南房総フィエスタ委託料についての質疑に対し、平成7年度については第7回目に当たるが、8月の中旬にフラメンコ選手権というイベントを実施、また公民館事業の一環として幾つかの講座を予定しているとの説明がありました。

次に、一般会計歳入であります。市税の収納状況についての質疑に対し、年度途中なので確定はしていないが、予算額は確保できる見込みであるとの回答がありました。

次に、市債についてであります。平成6年度末起債残高が144億円、平成5年度末の許可制限比率は11.5%であるとの説明に対し、委員から、制限比率にまだ余裕があるので、次年度には経済の活性化が図れるような思い切った事業を取り込む方向で予算編成を願いたいとの要望がありました。

次に、水道事業特別会計であります。給水原価及び供給単価の近隣8水道事業体及び県営水道との比較について説明を求めました。

さらに、広域水道完成後の見込みはどうかとの質疑に対し、現在14事業体で水量の見直しを行おうとしている段階であるので、数値的には算出できないとの回答がありました。

以上が質疑応答等の概要であります。

採決の結果、付託を受けました議案第1号乃至議案第8号の一般会計及び特別会計予算については、全員一致をもってそれぞれ原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、本特別委員会における審査の概要につきまして御報告申し上げましたが、市当局におかれましては、今後の予算執行、行政運営に当たり、本特別委員会における要望、指摘事項等を十分に配慮されるよう特に要望いたしまして、予算審査特別委員会委員長報告を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長の報告を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

21番議員神田守隆さん。御登壇願います。

（21番議員神田守隆君登壇）

◎21番（神田守隆君） 議案第1号平成7年度館山市一般会計予算案に反対の討論をいたします。

阪神大震災は、5,493人の死者をもたらすなど、戦後最大の災害となりました。地震の恐ろしさを私たちの胸に強く焼きつけたところであります。しかし同時に、地震は防げないが、震災は防ぐことができることをも教えました。地震は天災であっても、震災は必ずしも天災ではありません。むしろ、地震に対して必要とされる備えをしてこなかった政治の責任こそが問われな

ければならないし、その意味では人災とさえ言えるのであります。地震国日本で国民を震災から守ることこそ、国民の安全保障の最大の任務であります。ところが、地震予知関係の予算は 106億円余りにすぎません。アメリカ軍への思いやり予算 2,714億円のわずか25分の1にすぎないのであります。抜本的な震災対策のために、4兆 7,000億円にも上る軍事費など、政治のゆがみを正し、予算の浪費をなくすことが強く求められるところであります。

さて、館山市地域防災計画の震災対策は、市民の生命、財産を守るのに必要な措置がとられていると言えるであらうでしょうか。新年度では、防災応急対策として防災無線の点検や防災資機材の整備拡充を図るとして、防災予算をこれまでに比べ倍増するなどしたことは評価できることでありますが、残念ながらそれだけではとても安全、安心とはほど遠いと言わざるを得ません。また、小中学校の窓ガラス落下防止のための予算が計上されていることは前進ではありますが、これ自体は既に昭和63年につくられた館山市地域防災計画で指摘されていたことで、これまで6年間も手がつけられていなかったことこそ問題であります。むしろ、防災計画では通学路などのブロック塀の撤去等を指摘しているにもかかわらず、一方では市自身が保育園の周りをブロック塀で囲うなど、防災計画の指摘とは全く逆のことを行ってまいりました。これは防災計画の指摘が全く生かされていない実例であり、地域防災計画が残念ながら一部では単なる作文になっていたことを示すものであります。

昭和55年から56年にかけて行われた館山市地震対策基礎調査では、関東大地震が再び館山を襲った場合の被害を想定しております。市街地の多くが地表加速度 600ガルの激震で、木造建築物の44%が全壊するとされています。そして、この全壊率を低減させていくことは可能だし、そのことが行政の大きな役割であることも指摘されております。私の質問への答弁で、市当局は昭和46年以前に建築された木造建築物が約1万 5,000棟あるとしているわけですが、この中には、現在の建築基準法から見て、耐震構造の面で不適格とされる建築物がかなりあり、中には昭和25年の建築基準法施行以前の建築物も相当程度あるものと思われます。建築基準法は、法施行前の建築物については建築基準法の各規定は遡及しないという原則になっているので、

現行法では不適格とされる建物でも違反建築物とはなりません。しかし同時に、建築基準法第10条は、保安上危険であり、または衛生上有害である建築物については、改築など必要な措置を命ずることができるとしております。さきの地震対策基礎調査では、昭和25年以前の建築物は100%全壊すると想定されております。阪神大震災では、家屋倒壊で押しつぶされてたくさんの方が亡くなりましたが、市内の不適格建築物については、建築基準法第10条の保安上危険とみなされるものがあるのではないかと考えられます。私は、市は市内の不適格建築物について、その実情を調査し、保安上危険とされる建築物については助成をし、耐震診断や耐震補強を進めるよう強く求めます。

また、地震基礎調査では鉄筋コンクリート建築物の耐震性についても言及しているところであります。市街地を中心に、600ガルの地表加速度が想定される地域では鉄筋コンクリートの建物もかなり倒壊すると、その危険性を指摘しております。市役所や消防署など、公共建築物の多くが倒壊することが想定されます。これらの建築物は、災害の応急対策に当たって、その第一線に立つべき施設であります。それらは倒壊してはなりません。安全、安心のために、これら建築物の耐震診断と耐震補強をきちんを行うよう強く主張するところであります。

次に、私は館山市の高齢者福祉の拡充を、従来のテンポを引き上げ、抜本的に強化するよう強く求めるところであります。65歳以上の高齢者100人当たりどのくらい市町村のサービスが実施されているかという指標で見ると、館山市の高齢者福祉の水準は、ホームヘルパーの利用率では全国平均のやっと半分でしかありません。デイサービスに至っては、5分の1といった惨憺たる状況であります。館山市の高齢者は全国的に大変低い水準のサービスしか受けられていないのであります。館山市老人保健福祉計画では、この計画水準自体が全国的な水準に比べてかなり低いことが明らかになってまいりました。例えば、館山市のホームヘルパーは54人にすることになっていますが、全国の計画の水準では、当初10万人が17万人に改められましたが、これは館山市の高齢者の割合では113人に相当いたします。館山市の計画水準は

全国の計画水準のやっと半分程度にすぎないのであります。計画自体を改めて見直すことが求められます。

次に、館山市の財政計画の上で、南房総広域水道計画は財政的に大きな問題のあることをこれまでもたびたび指摘してまいりましたが、この指摘がそのとおりであったことが明らかになりました。館山市の市債残高は、庄司市長が引き継いだとき93億円でありましたが、わずか4年の間に140億円を超えました。新年度予算では166億円になるとしているわけであります。館山市財政は借金づけとも言うべき状況に陥っておりますが、その中でも大きな財政負担となっているのは南房総広域水道にかかわる出資債であります。南房総広域水道は、市営水道に日量1万2,000トンの水をもたらすとされますが、これはリゾート開発などの大規模開発を進めることを大きな目的とするもので、館野、九重などの未給水地域解消のための水源をも確保することをねらいとしておりますが、それは全体の計画の上ではわずか1,000トン足らずの水量にすぎません。リゾート開発などの開発のための水源負担は、本来まず第一に開発企業が負担すべきであります。また、リゾート開発を国の政策として位置づけて推進しようとしてきた以上、国、県が当然責任を持つべきであります。さんざんリゾート開発をあおっておいて、水源開発など、その財政負担はそこに住む住民に押しつけるなどということは絶対にあってはなりません。市民負担は筋が違うと言わなければなりません。南房総広域水道事業への国、県の助成強化を強く求めるところであります。

次に、この4月で私たち議員の任期が切れ、新しい議会が構成されることになりますが、議会は市民の代表として市行政を監視する重要な役割を期待されます。不要不急の開発事業を見直し、真に必要とされる市民福祉の充実に必要な財源を確保していくことが求められます。それだけに、議員の海外視察などは本当に必要性があるのか、またむだと思われる支出はないのかなど、議会自らがその予算支出のあり方を再検討することが求められます。新しく市民の負託を担って市議会を構成する議員の方々の見識を期待していきたいと思います。

以上の点を主張し、私の反対討論といたします。

◎議長（辻田 実君） 以上で神田守隆さんの討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありませんか。

28番飯田義男さん。

（28番議員飯田義男君登壇）

◎28番（飯田義男君） 私は、平成7年度一般会計予算及び特別会計予算について賛成討論をいたします。

確かに平成7年度の予算の内容を見ますと、当面大きなイベントとして、上下水道にかかわる経費が非常に多いという現実には直面しております。それから特に、ただいま神田議員のおっしゃったように、防災計画の今後の早急な問題が提起されておりますけれども、これは国の速やかなるマニュアル的な指導計画も発表されると思いますし、防災マップを配布することも必要でありますけれども、地域における実態に応じた防災計画を市民に徹底されるような即時計画を立てて――補正予算でもいいから計画を立てていただくようにしていただきたいと思います。

なお、医療体制の整備については、予算上にはもちろんございませんけれども、医療センターを中心として今後やるという市長の意思表示もされておりますので、これらもあわせてやっていただきたい。あるいは、福祉センターの建設等、市長が2期目に入って、将来やるべきさまざまなビジョンがたくさんありますけれども、平成7年度の予算は、あらゆる将来を見通しながら、最大の工夫と予算編成におけるノウハウを駆使してつくった予算であろうと一応判断しております。

今後この予算の執行に当たって、より慎重に、より合理的に、より効率的に運用を図ることを心して、市長を初め市執行部については実施をしていたくことを念願をしながら、私は本予算に対する賛成討論を終わります。

◎議長（辻田 実君） 他に討論はございませんか。

18番日下君敏さん。

（18番議員日下君敏君登壇）

◎18番（日下君敏君） 私は、議案第1号平成7年度館山市一般会計予算

について賛成の討論をいたすものでございます。

今年度の一般会計予算の規模は 161億 4,500万余円でございます。対前年度比1%の増でございます。私は、まずこの予算規模につきまして、積極的な財政を堅持いたしておるというようなところの中で賛成いたすものでございます。千葉県の他市と比べた場合、他市の中にはマイナス予算を組んでおるところもございますけれども、とにもかくにも館山市は一応積極的な予算を組んだということで、まず賛成いたすところでございます。

第2は、館山市が重要施策を確実に実施いたしているということでございます。館山市が現在取り組んでおります重要施策は、公共下水道事業、上水道拡張事業、さらには南房総水道事業等々でございます。さらには駅前もある。東西駅前がございます。しかし、こういう重要施策をこの緊縮した財政の中で行っておるということに賛意を表すところでございます。公共下水道事業は、南房総で館山市が積極果敢に初めて行っている大事業であります。下水道事業は本当に金と時間のかかるものでございますが、これを庄司市政が懸命にやっておるというところに賛意を表すところでございます。また、上水道は、館山市の水道の第3次拡張、三芳水道事業の第2次拡張事業等々、未給水地区の解消をねらいまして着々と進行しておるところでございます。また、南房総水道事業につきましては、賛否両論のあるところでございますけれども、私は、南房総の水不足を解消いたす、館山市の水不足を解消いたすということの中で、これは積極的に将来のために取り組むべきものであるというふうに存ずるものでございます。確かに御指摘がございますように、この供給数量の問題、水の値段の問題、事業予算の問題等々、将来的には不透明な部分がございますけれども、とにもかくにも、この館山市の水不足は現実の問題でございます。これを解消しなくては、各種企業の進出、さらにはリゾートの問題等々は解決いたさない。まことに基本的な問題でございますので、この南房総水道拡張事業というものは推進すべきであると存ずるところでございます。

第3番目は、福祉事業が適切に配置されておるということでございます。特に、老人福祉問題、この問題は大変な問題でございます。これから21世紀



を迎えて、我が館山市に限らず、日本の、あるいは世界の最大、最高、最重要の課題がこの老人福祉だろうと存ずるところでございますが、館山市は少ない予算の中で適切な予算を配備いたしておる、そういうふう存ずるところでございます。

以上3点をもちまして、私はこの平成7年度の一般会計に賛意を表すところでございますけれども、庄司市長におかれましては改選、2期を迎えて初めて組んだ予算でございます。私は非常に庄司市政の庄司色がよく出ている予算であるというふう存ずるところでございます。ただいま防災対策の問題が出ましたけれども、私は防災対策につきましてはほどほどの予算が組んであるのではないかと、こういうふう存ずるところでございます。物の見方は裏腹でございまして、表と裏の見方があるわけでありまして。ここに水がある。このコップが半分なくなる。もう半分なくなったというふうに見るのか、まだあと半分残っているのかというふうに見るのか、要するに見方があります。ですから、私は今予算で防災対策費を倍増いたしてあるということは、とりもなおさず庄司市政が積極的に防災対策に対して意を用いているんだというふう存ずるところでございます。またさらに、庁内改革に着手いたしております。名称を変えるだけではよくないというところではございましょうけれども、名称を変えてわかりやすくして少数精鋭で進む、私はこれは賛成であります。変化は進歩であります。どうかひとつ市長もそういうことの中でこれから予算を実施いたしていただきたい、執行していただきたいと存ずるところでございます。

確かに一方で公債費の増大という危惧がございます。しかしながら、今私が申し述べましたような公共下水道事業、上水道、西口、こういう問題の事業を行えば、当然これは事業費がかかるわけでございます。事業費はどこから捻出するか。まさか一般会計から持ってくるわけにはいきません。これはどうしても公債に頼らざるを得ないのであります。したがって、この公債が制限比率の中のバランスを持って増大するならば、これはこれとして、地方公共団体の宿命として、いたし方がないというふう存ずるところでございます。

今後はひとつこの予算を時期を見て適切に執行いたしていただくことを要望いたしまして、私の賛成討論といたします。

◎議長（辻田 実君） 他に討論はございませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第1号平成7年度館山市一般会計予算について、起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（辻田 実君） 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

続いて、議案第2号乃至議案第8号、平成7年度館山市各特別会計予算について、一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

## 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第6、議案第33号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

## 議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第33号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由を御説明申し上げます。

去る1月17日に発生しました阪神・淡路大震災の被災者の負担の軽減を図るため、阪神・淡路大震災の被災者等に係る国税関係法律の臨時特例に関する法律が公布、施行されたことに合わせ、同趣旨の地方税法の一部改正を受けまして、本条例を改正しようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

#### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑はありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

## 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第7、議案第34号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

## 議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 議案第34号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について、提案理由を御説明申し上げます。

館山市固定資産評価審査委員会委員中、石井隆三さんが平成7年3月31日をもって任期が満了いたしますので、後任といたしまして佐藤輝雄さんを適任者と考え、選任いたしたいと存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

## 質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第8、発議案第2号地方分権推進法の早期制定に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

### 議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

28番飯田義男さん。

（28番議員飯田義男君登壇）

◎28番（飯田義男君） ただいま議題となりました発議案第2号地方分権推進法の早期制定に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

地方分権に関しましては、当市議会においても、既に昨年の3月議会において意見書を提出するなど、その推進方を強く関係機関に要望してきたところでございますが、長年の地方団体の要望が実り、今国会に地方分権推進法案が提出されております。地方の意見を反映したこの地方分権推進法を早期に成立させるよう、全国的な運動の一環として重ねて関係機関に要望いたしたく、8名の賛成者を得まして提案いたしました次第であります。

満場の皆様の御賛同を賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明を終わります。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

#### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

#### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第9、発議案第3号定住する在日外国人への地方参政権付与に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

#### 議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

4番齊藤 実さん。御登壇願います。

（4番議員齊藤 実君登壇）

◎4番（齊藤 実君） ただいま議題となりました発議案第3号定住する在日外国人への地方参政権付与に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

本案につきましては、総務委員会に送付され、審査の結果了承できるものと決しました陳情書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしました。く、6名の賛成者を得まして提案いたしました次第でございます。

満場の皆様の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

### 質 疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

### 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

### 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第10、発議案第4号及び発議案第5号の各議案を一括して議題といたします。



議案の朗読は省略いたします。

#### 議案の内容説明

◎議長（辻田 実君） 議案の説明を求めます。

5 番宮沢治海さん。御登壇願います。

（5 番議員宮沢治海君登壇）

◎5 番（宮沢治海君） ただいま議題となりました発議案第4号国民のためのよい看護実現に関する意見書について及び発議案第5号義歯（入れ歯）保険点数の改善に関する意見書について、提案理由を御説明申し上げます。

両議案につきましては、文教民生委員会に送付され、審査の結果了承できるものと決しました陳情書の趣旨を体しまして、関係機関に意見書を提出いたしたく、それぞれ7名の賛成者を得まして提案いたしました次第でございます。

満場の皆様の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（辻田 実君） 説明は終わりました。

#### 質疑 応 答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案については委員会の付託を省略することに決しました。

## 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論は一括して行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

## 日程の追加

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

ただいま発議案第6号館山市議会委員会条例の一部を改正する条例についてが提出されました。この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

## 議案の上程

◎議長（辻田 実君） 発議案第6号館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

## 議案の配付

◎議長（辻田 実君） 議案を配付いたします。

(議案配付)

◎議長(辻田 実君) 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長(辻田 実君) 議案の説明を求めます。

28番飯田義男さん。

(28番議員飯田義男君登壇)

◎28番(飯田義男君) ただいま議題となりました発議案第6号館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由を御説明申し上げます。

先ほど議決されました市の行政組織の見直しに伴い、委員会条例第2条の常任委員会の所管に関する部分 — すなわち部等の名称について改正の必要が生じたことにより、本案を提案いたしました次第でございます。

なお、次の一般選挙から議員定数を削減したことに伴い、5月から各常任委員会委員の定数を改正する必要が生じておりますので、あわせて改正いたしたく、8名の賛成者を得まして提案した次第でございます。

満場の皆様の御賛同を賜りますようお願いしまして、提案理由の説明いたします。

◎議長(辻田 実君) 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長(辻田 実君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長(辻田 実君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

## 討 論

◎議長（辻田 実君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

## 採 決

◎議長（辻田 実君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

## 閉 会 午前11時37分

◎議長（辻田 実君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第1回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第1号乃至議案第8号
- 1 議案第10号乃至議案第34号
- 1 発議案第2号乃至発議案第5号
- 1 請願第18号
- 1 日程の追加・発議案第6号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員

